

国連防災世界会議のその後

災害統計グローバルセンター/ 世界防災フォーラム

小野裕一

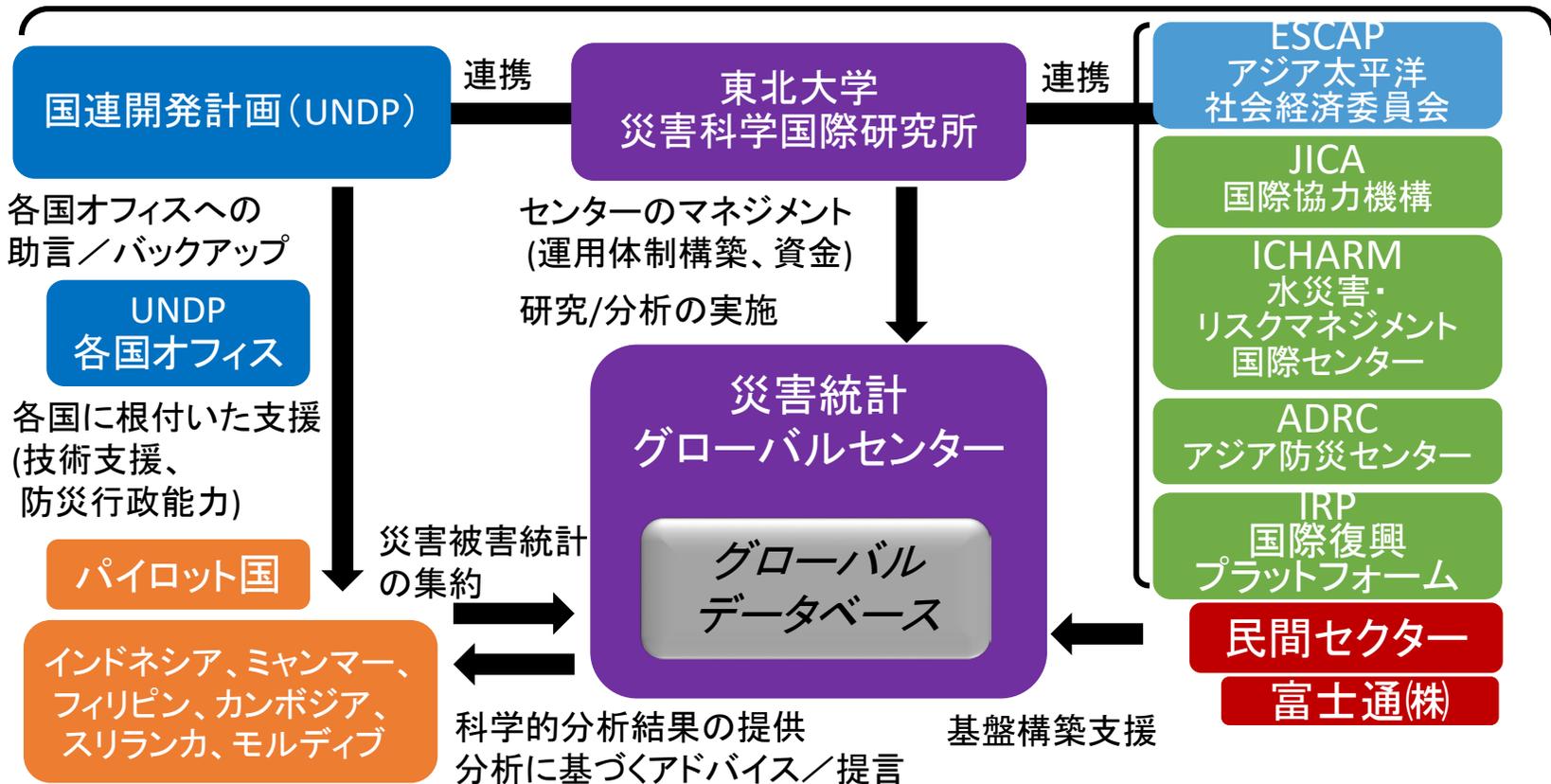
(情報管理・社会連携部門/社会連携オフィス・教授)

国連国際防災戦略事務局
(UNISDR)

仙台防災枠組

持続可能な開発のための2030アジェンダ

↑ 貢献



パイロット国

6カ国： インドネシア、ミャンマー、フィリピン、カンボジア、スリランカ、モルディブ

インドネシアでの取り組み

1. 取得中或いは今後取得可能な統計
 - 1.1. 災害被害統計(DIBI)※2016年7月時点の情報
 - (1) 概要
州・県／市までの細分化されたデータ(全国で、91市、349県 ※市と県は同じ行政レベル)
1815年～現在までの、合計20,896件のデータを集録
 - (2) 災害種
テロ、洪水、洪水+土砂災害、高潮、地震、地震+津波、疫病、火事、森林火災、労働災害、交通事故、旱魃、飢饉、伝染病、衝突・対立、火山噴火、気候変動、強風、土砂災害、津波
 - (3) 収集するデータ項目
人的被害(死者、負傷者、不明者、避難者、被災者) 被害(全壊棟数、半壊棟数、浸水棟数、教育施設、保健施設、宗教施設、建物、店舗、橋梁、道路、灌漑施設及びダム、水田、農地、庭園及び森林、池及び養殖池)
経済的損失のデータはなし

1.2. 社会経済統計 (National Socio Economic Survey SUSENAS)

(1) 概要

基本項目に関しては、毎年データ収集を実施、加えて、3つのモジュールを3年に一度調査 (Social Resilience Module, Health and Housing Module, もう一つ)

全国を複数の調査区に分けて、各調査区で10世帯を選び75,000世帯をサンプリングして調査 (2014年の場合)

(2) 収集項目に関して

Social Resilience Module ⇒ 災害関連自然災害を経験した世帯、自然災害に対して対策を考えている世帯数、自然災害で精神的な影響(トラウマ)を受けている世帯構成員、避難やレスキューの訓練を受けたことのある世帯

Health and Housing Module ⇒ 洪水を経験したことのある世帯

1.3. 村落ポテンシャルセンサス (Village Potential Census PODES)

(1) 概要

1980年から実施しており、最近は2014、2011、2008、2005など大方3年に一度
82,190の村／区 (Desa) レベルで調査

DIBIのホームページ上で、2014年のPODESが既に共有されている

(2) 収集項目に関して

災害に関する項目 (過去3年での自然災害発生、防災対策 (早期警報、自然))

土地利用の変化 (農業地⇒非農業地等)

保健・衛生施設に関する項目 (コミュニティーの保健センター、助産師、総合保険センターの有無)

コミュニケーションインフラに関する項目 (電話、インターネット、携帯電話の利用環境)

1.4. 人口センサス (Population Census)

(1)

10年に一回、過去に6回実施(1961、1971、1980、1990、2000、2010)

152項目のデータに関して集計

村／区 (Desa) まで細分化されたデータ

HPにおいてデータ公開 (<http://sp2010.bps.go.id/index.php/site/index>) ※HP上では県／市レベルで統合されてデータのみ公開

(2)

収集項目に関して(2010年のセンサスについて)

一般的な人口統計(年齢構成、家族構成)、教育水準、インフラへのアクセス状況、身体的・精神的障害の有無、住居情報、移住に関する情報(県・市内外の人口流動)

DIBIのウェブサイト上で災害被害統計の並べて表示可能

1.5. 人口統計中間調査 (Survei Penduduk Antar Sensus SUPAS)

10年に一回実施される人口センサスの間に実施される対象者を絞った中間調査

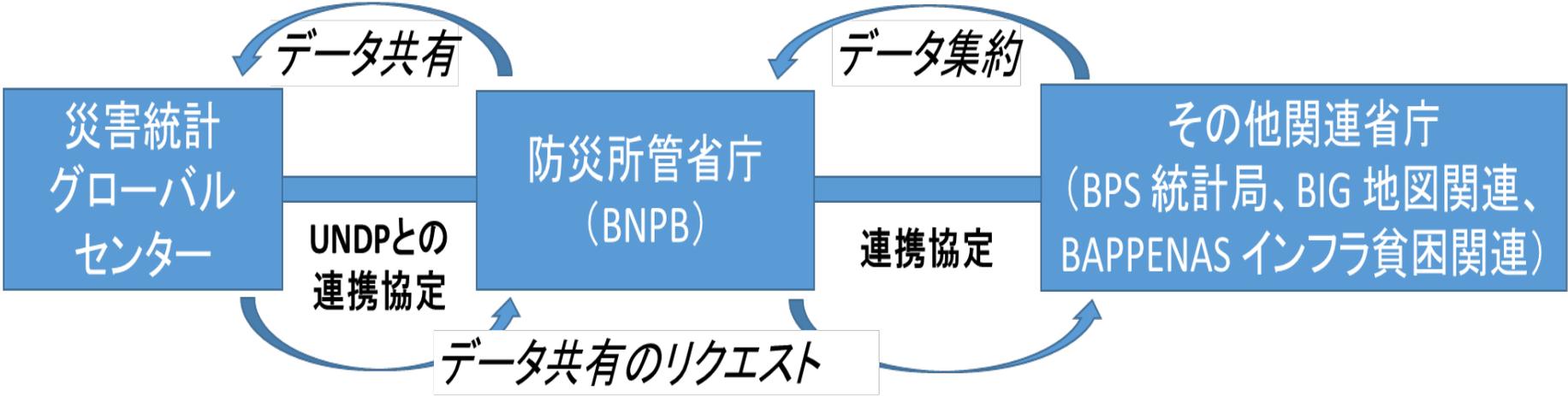
DIBIのウェブサイト上で災害被害統計の並べて表示可能

1.6. 人口の将来推計 (Population projection)

2035年までの州ごとの来の人口推定値

DIBIのウェブサイト上で災害被害統計の並べて表示可能

データ共有の枠組のイメージ



災害統計グローバルセンターホームページ

ホームページ上のアプリケーション

情報公開

仙台防災枠組
モニタリング

防災白書の
素材提供

データダウンロード

災害統計データを用いた
分析

東日本大震災関連統計
発信ウェブサイト(構築済)

先進的な
研究成果の発信

一般公開の部分(災害被害統計が中心)

限定公開の部分(災害被害統計とそれ以外の統計および組み合わせ)

各国からのデータに基づかない(一般公開)

データベース (現時点での収集することが具体的に想定されるもの)

ウェブ上でデータベースとして管理するデータ(富士通㈱のサーバー)



所内及び連携パートナーとの共有フォルダ

データベースの構築と別に分析の検討を進めるために簡単にデータを共有できるシステムを整備する

各国からのデータ共有



※データベースへのアクセス権について

- 【Level 1】データベース管理者(設計・編集方針の決定権限 = 災害研、実際の設計・構築・編集を実施 = 富士通 ㈱)
- 【Level 2】パートナー 機関(東北大学災害科学国際研究所、UNDP、富士通株式会社、JICA、ESCAP、ICHARM、ADRC、IRP
その他共同で分析を実施する研究機関等(パシフィックコンサルタンツ、国土技術研究センターJICE))
- 【Level 3】各国の政策決定者(自国へのアクセスOKだが、他国はNGなどのアクセス管理)
- 【Level 4】研究者(研究目的のみで公開OKなデータへのアクセス) ※登録制?
- 【Level 5】一般公開できるデータ

JICA 研修: 災害被害統計を各国が整備することの意義についてを強調

コース名	実施日	題目	参加人数	参加国
「洪水防災」	2016年9月12日	「災害統計」	13名	バングラデシュ、パキスタン、フィリピン、ブラジル、モルディブ、ミャンマー、ネパール、スリランカ、東ティモール
「災害統計」	2016年10月24日	「災害統計」	7名	ブラジル
「総合防災行政 (A)」	2016年11月11日	「防災主流化の促進」	21名	バングラデシュ、ブータン、ブラジル、チリ、フィジー、インドネシア、イラン、マレーシア、モンゴリア、ミャンマー、ネパール、フィリピン、スリランカ、トルコ
「総合防災行政 (A)」	2017年1月18日	「仙台防災枠組モニタリングと災害統計」	10名	グアテマラ、エルサルバドル、ニカラグア、コスタリカ、パナマ、中米防災調整センター
「総合防災行政 (A)」	2017年2月17日	「防災における災害統計の重要性及び科学的データに基づいた計画策定、施策」	15名	アフガニスタン、アルゼンチン、インドネシア、コロンビア、スリランカ、ネパール、パキスタン、ブータン、ベトナム、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、マレーシア、ミャンマー、モンゴル、リベリア

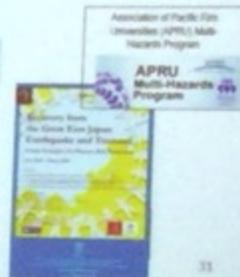
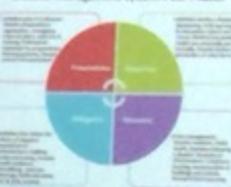
世界防災フォーラム

Sendai Japan
2015.3.14/18
WCDRR

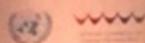
今後の連携強化に向けて(2)

- 世界防災フォーラム(仮称)の立ち上げ
 - 第3回国連防災世界会議のモーメントムの継続
 - テーマは防災・減災・復興と幅広く設定
 - 定期的(2年に一度程度)に東北・仙台で開催し、国内外での防災・減災の取組に貢献し、さらに東北での復興の支援を継続
 - 政府、国連を含む国際機関、企業、アカデミア、NGO、一般市民と幅広く考え、プレナリーでの会議、シンポジウムや展示を中心としながら創造的なイベントを企画
 - ISDRおよびGlobal Risk Forum(ダボス)との連携を図る

Disaster Management Cycle in Four Phases



31



Public Forum



Future Actions after the UN WCDRR(2)

World Risk Forum Initiative:
Central to the initiative is the idea of a global network of leaders in disaster risk reduction, who will meet regularly to discuss and coordinate their efforts. The forum will also provide a platform for the exchange of ideas and experiences, and will be a key element in the implementation of the Sendai Framework for Disaster Risk Reduction 2015-2030.



CHA
CH1
CH2

世界防災フォーラム／防災ダボス会議 @仙台2017 開催概要

開催日程：平成29年11月25日（土）～28日（火）

会場：仙台国際センター会議棟・展示棟（決定）／東北大学 萩ホール（検討中）

主催：世界防災フォーラム実行委員会

事務局：東北大学災害科学国際研究所内 世界防災フォーラム準備室

共催：（予定）東北大学、仙台市、Global Risk Forum GRF Davos

後援：政府・国連等の協力団体

想定参加者：登録者・関係者等500名程度（研究機関、国際機関、政府機関、企業、団体、NGO等の 国内外の防災に関する専門家等）、ほか一般来場者（市民等）

どのようなフォーラムか？

第3回国連防災世界会議の成果文書として、国際的な防災枠組である「仙台防災枠組」が策定されました。これまでわが国は防災分野で世界をリードしてきましたが、東日本大震災の際は内外から多くの支援をいただきました。第3回国連防災世界会議でホストを務めた国として、今後、国内の防災対策を進めるのはもちろん、国際連携を深めつつ、仙台防災枠組を強力に牽引していくことが求められています。

その一環として、今年から仙台にて、「世界防災フォーラム／防災ダボス会議@仙台」(World Bosai Forum / International Disaster Risk Conference in Sendai) (以下、「世界防災フォーラム」)を隔年で開催することになりました。**スイスの防災ダボス会議と連携し、仙台に国内外から産・官・学・民の防災関係者が集まり、東日本大震災に関する知見を世界発信する**予定です。フォーラムの場で**防災の具体的な解決策**を創出し、BOSAIという言葉を災害リスク軽減から復興・再生までを包括する概念として世界へ浸透させることも目指します。この世界防災フォーラムの定期開催により、**東北・仙台が世界の防災の先進地となり、東北被災地の復興が進むこと**も期待されます。

第一回世界防災フォーラムは2017年11月25～28日(予定)、仙台国際センターを中心に開催予定です。**防災専門家やマルチステークホルダーの会議、ならびに、震災時に海外から受けた支援への答礼と復興状況の報告を兼ねた一般市民も参加できるイベント**を予定しています。スイスの防災ダボス会議が欧米の防災専門家中心であるのに対し、仙台で開催される本フォーラムは、アジアに重点を置き、**広く市民も参加できるもの**を目指しています。

www.worldbosaiforum.com



DAVOS ◆ SENDAI
**WORLD
BOSAI
FORUM**

IDRC 2017 in SENDAI

International Disaster and Risk Conference 2017, Sendai, JAPAN

世界防災フォーラム／防災ダボス会議@仙台

2017年11月25日(土)～28日(火)

仙台国際センター

2017.02.23 「概要」「プログラム」「関連イベント」「会場・宿泊」を更新しました。

2017.02.17 世界防災フォーラムのホームページを開設しました。